

送辞

宮川から吹き抜けていた冷たい風も次第に和らぎ、少しずつ心地よさが漂う季節となりました。この佳き日に、御園中学校を旅立っていかれる卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

今、瞼を閉じると、先輩方と過ごした数々の思い出が、昨日のここのように蘇ってきます。

不安を胸に迎えた入学式。先輩方の姿はとても大きく感じられました。緊張している私たちを温かい拍手で迎え入れてくださいました。

厳しく、楽しい部活動。入部当初、何もわからず立ち尽くしていた私たちを、引っ張って行ってくださいました。共に汗を流し、笑い合い、大きな声で声援を送ってくれた日々。目標に向かって練習する姿はいつも眩しく、輝いて見えました。強い意志をもって勝利を目指し、相手に立ち向かう姿は、私たちの憧れでした。

一丸となった運動会。校庭に笑顔と大きな声援が飛び交っており、特に綱引きでは、保護者や先生方との対決が接戦で、目が離せないほどでした。仲間と切磋琢磨しながら、誰もが競技に一生懸命に取り組む姿はとても格好よく、今でも鮮明に思い出されます。

熱気に包まれた文化祭。合唱発表会では、個々の声が一つのハーモニーを奏で、体育館全体に響き渡り、心を奪われました。午後の生徒会企画は、大きな笑い声で溢れていました。これは先輩方の、「成功させる！」という強い思いがあったからこそです。

先輩方が卒業された後の、静まり返った教室や、空っぽの下駄箱を見ると、私たちは寂しく感じることでしょう。先輩方が築き上げてくださった、御園中学校の伝統や誇りを、まだまだ未熟な私たちではありますが、責任をもって受け継いでいくと約束します。

これから先輩方は、それぞれの新たなステージへと歩み出されます。時には挫けそうになり、自信をなくしてしまうこともあるかもしれませんが、周りには素晴らしい仲間がいます。手を貸してくれる仲間がいます。信じてくれる仲間がいます。前を向いて自分らしく

進み続けてください。そして、御園中学校で共に学び、壁を一緒に乗り越えてきた仲間たちを、これからもずっと大切にしてください。御園中学校で過ごした三年間は、これからの人生の大きな力になると思います。在校生一同、心より応援しています。

最後に、私からネルソン・マンデラ氏の素敵な言葉を贈らせてください。

「生きるうえで最も偉大な栄光とは、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。」

失敗しても、それは成長の一部となります。挑戦を続けていけば、最後には大きな成功へと繋がるでしょう。

本日は本当におめでとうございます。先輩方のご健康と、さらなるご活躍をお祈りして、送辞を結ばさせていただきます。

令和八年 三月六日 在校生代表 松崎 瑚子